



学校だより 令和3年6月
新宿区立四谷第六小学校
校長 岩澤 肇

【教育目標】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・たくましい子ども
- ・思いやりのある子ども

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6> メールアドレス yotsuroku@shinjuku.ed.jp

安心と安全のためにできること

校長 岩澤 肇

3度目の緊急事態宣言が延長の見通しとなり、東京都の感染者数も下げ止まりと言わざるを得ない状況が続いています。変異株の割合が高くなり、全国でも小学生や幼児への感染例が多く報告されるようになってきました。

従来通りの状況であれば、5月30日の運動会にて、地域・保護者の皆様をお招きして、児童の晴れ姿をご覧いただくことが大切であるとは思っておりましたが、宣言の終了が不確定なことや梅雨入り間近といった状況を熟慮した上で、児童への影響が一番少ない方法として無観客での実施とさせていただきました。様々なお考えがあることは承知しておりますが、ご理解をいただければと思います。

現在は緊急事態宣言下であり、今後もしばらく、新宿区は独自の警戒期間等を設定して現在の活動制限が続いていくものと予想されます。6月は水泳指導や学校公開を予定しておりましたが、新宿区教育委員会の指示のもと、計画を変更しながら進めさせていただきます。4月保護者会にて、皆様に「安心・安全が第一」「できる限り学校を止めない」ことをお約束しました通り、児童の安心と安全を第一に進めてまいります。変更に関しては、なるべく早くお知らせしていけるよう努力してまいります。

これまでのところ本校が、学級閉鎖等の処置を取らずに進められていますことは、保護者の皆様のご協力によるものと感謝しております。ただ、ご家族の皆様にはそれぞれの経済活動があり、感染の危険の中でもお仕事やお買い物といった活動をされていることと思います。当然、現在の変異株の感染力の強さから考えれば、感染する可能性は0にはできないでしょう。つまり、「学校を止めない」ということは、感染者を出さないことができればそれが一番ではありますが、それよりも「感染者が出たとしても濃厚接触者を出さない。」ことが大切であると考えています。学校としては、今後も活動中の換気、給食時に飛沫が飛ばないように配慮、活動終了後の消毒等を徹底して行っています。

すでに取り組んでいただいておりますが、今後も「体調のすぐれない時（ご家族と本人共に）の登校を控える判断。」「つけていやすいマスクを選んで、マスクをつけること。」をお願いします。

GIGA タブレットの整備を進め、万が一の時には朝の会や簡単な授業等できるよう準備は進めていますが、ワクチンが行き渡る等で感染状況が好転し、日常の生活を取り戻していける時まで、もうしばらく我慢と辛抱をお願いしたいと思います。皆様のご理解とご協力が一番大切なものとなります。職員一同も努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まなびの教室

主任教諭 熊谷 眞貴

新宿区には全校に「まなびの教室」が設置されています。誰でも得意なこと・不得手なことがあります。その内容や程度によっては、集団の中で力が上手に発揮できず、子どもが本来、学習したい・友達と関わりたいと思っている意欲がそがれてしまうことがあります。そうなる前に、その子に合った学び方で学習したり、さまざまな場面での対応の仕方を学んだりする場が「まなびの教室」です。週に1～2時間、まなびの教室へ行って指導を受けます。お子さんの様子で気になることがあれば、担任やSC・特別支援コーディネーターにご相談ください。

水泳指導について

水泳担当 渡邊 修平

現在、新宿区教育委員会が水泳指導について検討しています。その検討結果を受けて、本校での水泳指導の実施について判断します。6月に予定されていたプール開きは7月に延期とします。

学校公開について

教務 田中 悦子

日時:6月23日(水)8:30～13:40(分散参観予定)

*19日(土)、22日(火)は中止となりました。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の適用期間中であれば23日(水)も中止します。詳細につきましては、配布されるお知らせをご覧ください。